科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：キリスト教学入門 ILAS Seminar :Introduction of Christian Studies			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　教授　　津田　謙治		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	6 (6) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	文学部校舎８階キリスト教学研究室 （L811） (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	キリスト教 / ギリシア哲学 / 異端						

[授業の概要・目的]

本セミナーは、初期キリスト教の時代において、聖書の「創世記」が古代の人々によってどのように読まれ、解釈されてきたかを分析し、その思想史的展開を辿るものである。

「創世記」に書かれた天地万物の創造神話や、最初の人間が造られ、楽園での生活の後、罪を犯して堕落する物語は、西洋の思想や歴史、文学を理解する上でも重要な議論を含んでいる。このセミナーでは、イエスと同時代のユダヤ人、キリスト教最初期の異端的集団であるグノーシス、古代地中海東方および西方の代表的なキリスト教思想家が、この「創世記」の文書をどのように解釈したかをテキストを通して考察する。彼らはこの物語を、ギリシア哲学や様々な文化を用いて理解しようと試みており、場合によっては創造者を不完全な神と捉え、人間を唆した蛇を救済者と見なす思想も見出すであろう。それぞれの時代や思想的背景を授業の中で確認すると共に、キリスト教思想がどのように形成されてきたかを学ぶことが授業の目的である。

[到達目標]

宗教において信仰を抱くことと、哲学のように理性に従って生きることは、古代より異なった方向性や目的をもつものと見なされてきた。ここでは、宗教と哲学、もしくは信仰と理性がどのように初期のキリスト教の中で両立し、また場合によっては発展的な関係性を構築したかを理解することを目標とする。

[授業計画と内容]

第1回　「授業の内容と進め方に関するガイダンス」
第2回　「創世記の内容と成立背景①」
第3回　「創世記の内容と成立背景②」
第4回　「創世記の内容と成立背景③」
第5回　「ユダヤ人：フィロン『世界の創造』①」
第6回　「ユダヤ人：フィロン『世界の創造』②」
第7回　「異端：グノーシス文書『この世の起源について』①」
第8回　「異端：グノーシス文書『この世の起源について』②」
第9回　「東方教父：オリゲネス『創世記説教』①」
第10回　「東方教父：オリゲネス『創世記説教』②」
第11回　「東方教父：バシレイオス『ヘクサエメロン』①」
第12回　「東方教父：バシレイオス『ヘクサエメロン』②」
第13回　「西方教父：アウグスティヌス『創世記逐語註解』①」
第14回　「西方教父：アウグスティヌス『創世記逐語註解』②」
第15回　フィードバック

＊内容の詳細は初回に履修者と相談して決定する。

ILASセミナー ：キリスト教学入門(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：キリスト教学入門(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

・授業での議論への参加（30%）
・担当箇所についての発表（70%）

[教科書]

使用しない
教科書は使用せず、適宜テキスト等を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する
関連する参考文献については、適宜授業の中で取り上げる。

[授業外学修（予習・復習）等]

予習内容：あらかじめ配付したテキストを読み、質問などを用意する。
復習内容：授業で紹介した文献を読むなどして、次回の授業の理解につなげていく。

[その他（オフィスアワー等）]

特になし。